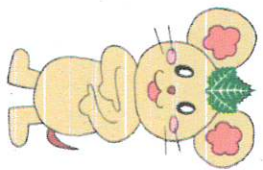


うしん SPS通信



だいごう 令和3年 ねん がつ にち ほごう
第2号 令和3年10月22日 発行
おおさかふりつちゅうおうちゅうかくしえんがっこう
大阪府立中央聴覚支援学校

10月中旬を迎え、だんだんと秋も深まってまいりました。夏休み中から2学期にかけての取り組みをご紹介します。

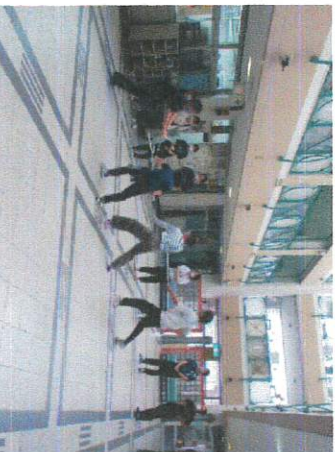
○不審者対応訓練

8月24日(火)に、不審者対応訓練を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、東警察署の方に来ていただけなかったため、今年度は講習会という形で実施しました。

本校の教諭より、「不審者対応の基本的な流れと緊急時に陥りやすい心理」をテーマに講習を行いました。

警察庁の「令和元年版 警察白書」によると、平成30年度(2018年)の110番通報後の現場到着時間は、平均7分25秒というデータが出ています。警察が学校へ到着し、不審者を確保するまでの間、どのようにして子どもたちの命を守るのかということ学びました。本校では、不審者が学校に侵入した際に使う「上町四郎」という言葉があります。これは、不審者が校内に侵入したことを全校に知らせる際、不審者を刺激して更なる被害拡大につなげないようするために考えられたものです。

講習会の後、各部に分かれてさすまたの使い方について確認しました。「さすまた」と聞くと、不審者を捕まえるためのものというイメージを持たれがちですが、本来は警察到着までの時間稼ぎのための道具です。不審者との距離を取りながら安全に対応できるという反面、使い方を誤ると不審者の武器にもなってしまいます。講習会で学んだことも生かしながらさすまたを使って実践的な訓練を行うことができました。



○災害時引き渡し訓練

10月11日(月)に教職員のみで、引き渡し訓練を実施しました。本校では、引き渡し時にQRコードを記載したカードを使用しています。

今年度が初の取り組みということで、引き渡しする際の手順やそれぞれの役割の確認などを丁寧にを行いました。引き渡しをした後も、安全な場所に帰宅できるのか確認したり、誰に引き渡したか記録として残せるように写真撮影したりしました。

災害発生時は訓練とは異なり、大きな混乱が予想されます。また、学校は地域の避難所として指定されているので、本校の子どもたちや教職員だけでなく地域の方々も避難しに来られます。「避難所運営も進めながら、子どもたちを保護者の方々へ安全に引き渡す」これが今後の大きな課題であると考えています。

今回の反省や課題を活かし、今後は保護者の方々にもご協力いただいて訓練を実施するなど、継続して取り組みを進めていきたいと思えます。



写真裏:引き渡し時受付と保護者役

写真手前:幼児児童生徒役

＝災害時 引き渡しカード＝ (訓練用見本)

○▽部 保護者

中央太郎



本校で使用している引き渡しカード(見本)

QRコードを読み取り、引き渡し者に登録されている方だけ確認できれば、引き渡しを行います。